

伊丹市

平成30年度(2018年度)6月補正予算

～ みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹 ～

<目次>

■平成30年度(2018年度)6月補正予算

・補正予算概要 1
・補正予算の内訳 3
・各会計補正予算総括表 5
・一般会計総括表 6

【補足資料】

・平成30年度(2018年度)6月補正予算主要事業の概要[個別資料] 資料-1～7
------------------------------------	--------------

伊丹市総合政策部・財政基盤部



住みたいまち
伊丹の実現!

幼児教育・子育て支援の充実!

補正
予算額

一般会計

276,469千円



補正予算の概要

幼児教育・子育て支援の充実を図るため、就学前施設の再編に伴う、こばと保育所の稲野公園内への移転整備に係る設計業務や幼児教育の充実を広く市内外へPRし移住・定住を促進するため、シティプロモーション推進事業を実施します。

また寄附金を財源に、伊丹小学校及び南小学校校庭の体育器具の整備や、こども発達支援センターにおけるリハビリテーション器具等の設置を行うとともに、子ども読書活動推進のためのブックスタート事業にも活用します。

その他、中学校教諭の働き方改革を推進するための部活動指導員配置事業や、民間保育士等の処遇改善のためのキャリアアップ研修など、所要の経費を計上しています。



保育所(イメージ)



リハビリテーション器具

一般会計補正予算の主な事業

276,469千円

・こばと保育所移転整備事業(基本設計・実施設計)	33,398千円
・桜台小学校プール移設工事	235,116千円
・シティプロモーション推進事業(幼児教育施策)	1,254千円
・体力・健康づくり推進事業	1,000千円
・こども発達支援センター事業(療育用具の充実)	2,866千円
・中学校部活動指導員配置事業	779千円
・その他	2,056千円

未来を担う人が育つまち

「住みたいまち伊丹」の実現に向け、
未来につなげるまちづくりに取り組みます。



就学前施設の整備を進めます！ [事業費:268,514千円]補正

就学前施設の再編に伴い、保育所や認定こども園を整備します。
本市で初めて、都市公園内に保育所を整備します。

こばと保育所移転整備事業 (基本設計・実施設計)

[事業費:33,398千円]

「こばと保育所」は、稲野公園内に新築
移転し、2020年(平成32年)4月に開園
予定です。

今年度は、基本設計・実施設計を行います。



こばと保育所移転計画敷地図 出典:Google Map

桜台小学校プール移設工事

[事業費:235,116千円]

「西部こども園」は、桜台幼稚園を増築して、2020年(平成32年)4月に開園予定です。
今年度は、増築に必要な敷地を確保するため、隣接する桜台小学校のプールを南側へ移設する
工事を行います。

子どもの育ちを支援します！

[事業費:3,866千円]補正

教育・療育環境の充実を図るため、伊丹を応援してくださる方の善意
を活用して、小学校やこども発達支援センターに遊具等を設置します。

体力・健康づくり推進事業

[事業費:1,000千円]

「伊丹小学校」「南小学校」に、体育の授業や休み時間などに活用し、
子ども達の体力向上を図ることができる体育器具を設置します。



<イメージ>

こども発達支援センター事業 (療育用具の充実)

[事業費:2,866千円]

「こども発達支援センターあすばる」に、発達に支援が必要な児童
が、よりよい療育を受けられるようリハビリテーション器具や保育遊
具の充実を図ります。



<イメージ>

平成30年度（2018年度）6月補正予算の内訳



詳細内訳

< 一般会計 >

(単位：千円)

事業名	事業費	説明	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
1 特定目的基金積立金 (指定寄附)	150	指定寄附金を教育振興基金に積立て	-	-	寄 150	-
2 シティプロモーション推進事業 (幼児教育施策) 【資料-1】	1,254	幼児教育の充実に係る施策を市内外へPR	-	-	-	1,254
3 生活保護システム等改修事業	1,070	平成30年10月からの生活保護基準の見直し等に伴う生活保護システム及び中国残留邦人等支援給付システムの改修を実施	国 713	-	-	357
4 保育士等キャリアアップ研修事業 【資料-2】	289	民間保育士等の処遇改善に係る要件として必須化されるキャリアアップ研修を実施	国 144	-	-	145
5 こばと保育所移転整備事業 (基本設計・実施設計) 【資料-3】	33,398	こばと保育所を稲野公園内に移転整備するための設計業務を実施	-	24,900	繰 1,405	7,093
6 桜台小学校プール移設工事 【資料-4】	235,116	・西部こども園の整備に伴う桜台小学校プールの移設工事を実施 ・国庫補助金の減額に伴い設計業務に係る事業費の財源更正	国 △10,031	184,700	繰 60,447	-
7 こども発達支援センター事業 (療育用具の充実) 【資料-5】	2,866	寄附金を活用し、発達に支援が必要な児童のためのリハビリテーション器具や保育遊具を購入	-	-	繰 2,866	-
8 伝統文化の学びの充実事業	150	県からの受託事業として、伝統文化に関する教育の充実を図るための実践研究をモデル校で実施	県 150	-	-	-
9 体力・健康づくり推進事業 【資料-6】	1,000	寄附金を活用し、小学校における児童の体力向上・健康増進を図るための体育器具を設置	-	-	繰 1,000	-
10 子ども読書活動推進事業	0	寄附金を活用し、ブックスタート事業に係る事業費の財源更正	-	-	繰 150	△150
11 中学校部活動指導員配置事業 【資料-7】	779	教諭の働き方改革への対応として、中学校の部活動指導員を配置	県 440	-	-	339
12 公債費（災害援護資金分）	397	災害援護資金の平成29年度下期返済額の増に伴う公債費償還元金の増	-	-	繰 397	-
合計	276,469		△8,584	209,600	66,415	9,038



詳細内訳

【変更】

(単位：千円)

起債の目的	限度額		起債の方法・利率・償還の方法
	(補正前)	(補正後)	
児童福祉施設整備事業債	46,400	71,300	変更なし
認定こども園整備事業債	91,600	115,500	
小学校施設整備事業債	139,200	300,000	
計	4,608,000	4,817,600	

平成30年度（2018年度）6月補正予算
各会計補正予算総括表



各会計総括表

（単位：千円）

会計区分		予算額		
		現計予算額 (A)	補正額 (B)	補正後予算額 (A)+(B)=(C)
1	一般会計（第1号）	69,500,000	276,469	69,776,469
2 特 別 会 計	国民健康保険事業	20,057,098	—	20,057,098
	後期高齢者医療事業	2,730,829	—	2,730,829
	介護保険事業	13,427,599	—	13,427,599
	中小企業勤労者福祉共済事業	30,457	—	30,457
	農業共済事業	14,301	—	14,301
	鴻池財産区	12,391	—	12,391
	荒牧財産区	40,039	—	40,039
	新田中野財産区	10,604	—	10,604
	（特別会計の計）	36,323,318	—	36,323,318
3 企 業 会 計	病院事業	13,519,816	—	13,519,816
	水道事業	6,128,188	—	6,128,188
	工業用水道事業	560,329	—	560,329
	下水道事業	8,653,235	—	8,653,235
	交通事業	3,119,689	—	3,119,689
	モーターボート競走事業	12,988,566	—	12,988,566
	（企業会計の計）	44,969,823	—	44,969,823
合計（1+2+3）		150,793,141	276,469	151,069,610

平成30年度（2018年度）6月補正予算
一般会計総括表



一般会計総括表

歳入

(単位:千円)

款	予算額		
	現計予算額 (A)	補正額 (B)	補正後予算額 (A)+(B)=(C)
1 市 税	29,945,816	—	29,945,816
2 地方譲与税	1,294,001	—	1,294,001
3 利子割交付金	27,000	—	27,000
4 配当割交付金	210,000	—	210,000
5 株式等譲渡所得割交付金	229,000	—	229,000
6 地方消費税交付金	3,381,000	—	3,381,000
7 自動車取得税交付金	165,000	—	165,000
8 国有提供施設等所在市町村助成交付金	6,110	—	6,110
9 地方特例交付金	160,000	—	160,000
10 地方交付税	5,200,000	—	5,200,000
11 交通安全対策特別交付金	32,000	—	32,000
12 分担金及び負担金	488,089	—	488,089
13 使用料及び手数料	3,079,404	—	3,079,404
14 国庫支出金	12,395,081	△9,174	12,385,907
15 県支出金	4,959,275	590	4,959,865
16 財産収入	102,185	—	102,185
17 寄附金	8,047	150	8,197
18 繰入金	1,010,311	75,303	1,085,614
19 繰越金	1	—	1
20 諸収入	2,199,680	—	2,199,680
21 市債	4,608,000	209,600	4,817,600
歳入合計	69,500,000	276,469	69,776,469

歳出

(単位:千円)

款	予算額		
	現計予算額 (A)	補正額 (B)	補正後予算額 (A)+(B)=(C)
1 議会費	495,063	—	495,063
2 総務費	7,025,919	1,404	7,027,323
3 民生費	33,852,075	64,274	33,916,349
4 衛生費	4,850,384	—	4,850,384
5 労働費	167,698	—	167,698
6 農業費	158,971	—	158,971
7 商工費	596,438	—	596,438
8 土木費	5,090,996	—	5,090,996
9 消防費	2,106,237	—	2,106,237
10 教育費	7,295,191	210,394	7,505,585
11 災害復旧費	4	—	4
12 公債費	7,505,244	397	7,505,641
13 諸支出金	285,780	—	285,780
14 予備費	70,000	—	70,000
歳出合計	69,500,000	276,469	69,776,469

【補足資料】

平成30年度（2018年度）

6月補正予算

主要事業の概要

[個別資料]

■シティプロモーション推進事業(幼児教育施策)	資料- 1
■保育士等キャリアアップ研修事業	資料- 2
■こぼと保育所移転整備事業(基本設計・実施設計)	資料- 3
■桜台小学校プール移設工事	資料- 4
■こども発達支援センター事業(療育用具の充実)	資料- 5
■体力・健康づくり推進事業	資料- 6
■中学校部活動指導員配置事業	資料- 7

担当: 都市ブランド・観光戦略課
幼児教育施策推進班

(ダイヤルイン: 072-784-8147)

款: 総務費
項: 総務管理費
目: 企画費

(単位: 千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
シティプロモーション推進事業(幼児教育施策)	1,254	—	—	—	—	1,254	—	1,254
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成30年度(2018年度)～							
主な業務内容	幼児教育の充実で、本市の魅力をPRする							
基本目標/政策目標	にぎわいと活力にあふれるまち					事務事業 コード (6桁)	311104	
基本方針/施策目標	個性とにぎわいあるまちづくり							
その他計画の位置付け								

1 事業の目的

伊丹市幼児教育ビジョンの実現に向けた取り組みや4・5歳児を対象とした保育料の全額無償化など、伊丹市は「幼児教育が充実したまち」であることを発信し、本市の移住・定住を促進します。

2 事業の概要

ラッピングバス(1台)の運行

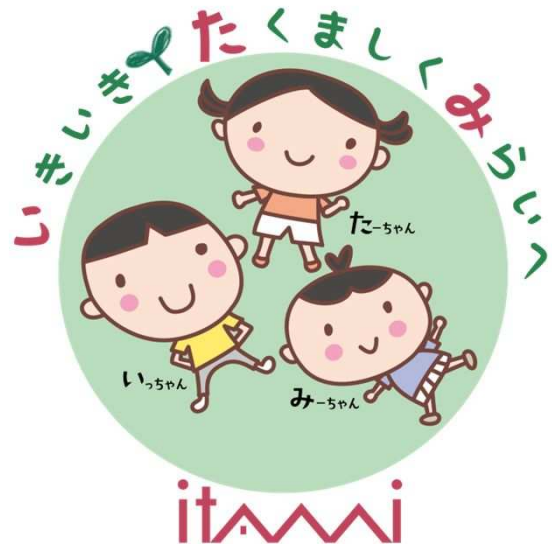
「幼児教育の充実」をラッピングした伊丹市営バスが市内全域を運行することにより、本市の子育て・教育施策等を市内外にPRします。

3 事業費

- (1) 委託料 891千円
- (2) 広告料 363千円

4 開始時期(予定)

平成30年8月～



【ラッピングバス イメージ】

款：民生費

項：児童福祉費

目：児童福祉総務費

担当： 保育課

(ダイヤルイン：072-784-8035)

(単位：千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
保育士等キャリアアップ 研修事業	289	144	—	—	—	145	—	289
補助金等名称	国	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助				補助率	1/2	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成30年度(2018年度)～							
主な業務内容	技能・経験を積んだ職員に掛かる追加的な人件費の加算に対する必須研修							
基本目標/政策目標	未来を担う人が育つまち					事務事業 コード (6桁)	2112	
基本方針/施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり							
その他計画の位置付け								

1 事業の目的

保育士等(民間)が専門性の向上を図り、技能・経験に応じてキャリアアップできる仕組みを支援します。

2 事業の概要

国が平成29年度(2017年度)から実施する子ども・子育て支援新制度の「施設型給付費等に係る処遇改善等加算Ⅱ」においては、中堅保育士(経験年数が概ね3年以上)の給与月額について、5,000円～40,000円を改善する要件として「保育士等キャリアアップ研修」(全8分野中、4分野以上、1分野15時間以上)の受講が必要となります。

- 平成29年度はモデル事業として県で8分野を実施
- 平成30年度(2018年度)からは県と市との共同事業として役割分担をして実施
【県で実施】障害児保育/食育・アレルギー対応/マネジメント/保育実践 (4分野)
【市町で実施】乳児保育/幼児教育/保健衛生・安全対策/保護者支援・子育て支援 (4分野)
- 平成30年度伊丹市で実施する研修の内容
研修分野：乳児保育
定員：200名
実施回数等：年1回 1日5時間×3日間を想定

3 事業費

講師謝礼 279千円
消耗品費 10千円



款：民生費
項：児童福祉費
目：保育所費

担当： 保育課

(ダイヤルイン：072-784-8035)

(単位：千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
こばと保育所移転整備事業 (基本設計・実施設計)	33,398	—	—	24,900	1,405	7,093	—	33,398
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成30年度(2018年度)～平成31年度(2019年度)							
主な業務内容	保育所の移転整備							
基本目標/政策目標	未来を担う人が育つまち					事務事業 コード (6桁)	2112	
基本方針/施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり							
その他計画の位置付け								

1 事業の目的

就学前施設の再編に伴い、働きながら子育てできる環境を充実させるため、都市公園を活用して保育所の整備を進めます。

2 事業の概要(施設整備計画)

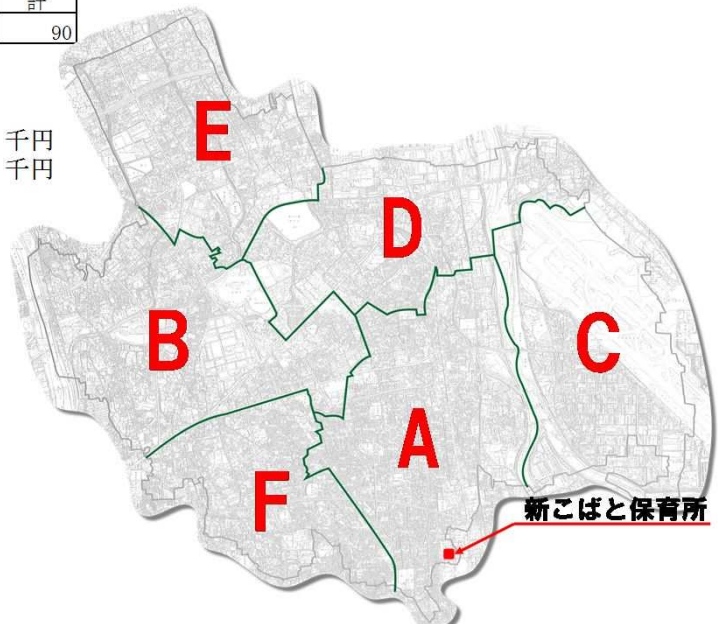
2020年(平成32年)4月の供用開始を目指し、「こばと保育所」を稲野公園(稲野町2丁目3-5)内に移転整備するための設計業務を実施します。

- 敷地面積 約1,000㎡
- 延べ床面積 約900㎡
- 定員(人)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
8	14	14	18	18	18	90

3 事業費

- (1) 基本設計委託料 7,093 千円
- (2) 実施設計委託料 26,305 千円



4 事業スケジュール

H30年度(2018年度)												H31年度(2019年度)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
										概算 当初予算要求													
☆ 契約						基本設計(4ヵ月)						公告 入札 契約						☆					
実施設計(5ヵ月)												整備工事(9ヵ月)											
												備品搬入引越											

款：教育費 他
項：小学校費 他
目：小学校施設整備事業費 他

担当： 施設課・幼児教育施策推進班
(ダイヤルイン：072-784-8082 072-784-8147)

(単位:千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
桜台小学校プ ール移設工事	工事請負費	235,116	—	—	180,200	54,916	—	235,116
	委託料	—	△10,031	—	4,500	5,531	—	30,094
補助金等名称	国	—					補助率	—
	県	—					補助率	—
事業期間	平成29年度(2017年度)～							
主な業務内容	桜台小学校のプール移設工事							
基本目標/政策目標	未来を担う人が育つまち						事務事業 コード (6桁)	211232
基本方針/施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり							
その他計画の位置付け	伊丹市幼児教育推進計画							

1 事業の目的

伊丹市幼児教育推進計画に則り、2020年度(平成32年度)開園予定の西部こども園建設に必要な敷地を確保するため、既存桜台小学校プールの移設を行います。

2 事業の概要

既存小学校プール(25mプール、小プール及び附属建物等)を撤去し、南側隣接地に新設を行います。

3 事業費

- 工事請負費 235,116千円(再計上)
 小学校施設整備事業費 208,465千円
 認定こども園整備事業費 26,651千円(既存プールの解体撤去)
- 設計委託料(財源更正)



<事業スケジュール>

- H30. 2月～6月 実施設計 (2018)
- H30. 7月 公告
- ↓
- H30. 8月 入札・仮契約締結
- ↓
- H30. 9月 定例会 議決後本契約締結
- ↓
- H31. 3月末 工事完成 (2019)



プールの完成イメージ

款：民生費
項：児童福祉費
目：こども発達支援センター費

担当： こども発達支援センター
(ダイヤルイン：072-784-8128)
(単位：千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
こども発達支援センター 事業(療育用具の充実)	2,866	—	—	—	2,866	—	36,012	38,878
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成30年度 (2018年度)							
主な業務内容	発達に支援を要する子どもの支援							
基本目標/政策目標	未来を担う人が育つまち					事務事業 コード (6桁)	211313	
基本方針/施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり							
その他計画の位置付け	伊丹市障害福祉計画 (第5期) ・ 伊丹市障害児福祉計画 (第1期) ・ 伊丹市子ども・子育て支援計画							

1 事業の目的

「こども発達支援センターあすばる」では、発達に支援を要する子どもが地域で安心して成長できるよう、障がいの種別に関わらず、保健・医療・福祉・教育の各分野が協力して総合的かつ一貫した支援やサービスを提供します。

2 事業の概要

「こども発達支援センターあすばる」の療育の充実を図るため、リハビリテーション器具や保育遊具を購入します。

①<乳児向き座位保持装置>

保育や生活場面で、安定した姿勢で活動へ参加する機会を増やすために使用します。



②<コミュニケーション機器>

息や音などにより、意思伝達を実現する手段として使用します。



③<サイバーホイール>

サイバーホイールを使用した遊びを通して、運動や感覚の発達を促します。



④<大型遊具>

低年齢の子どもが楽しく身体を使って遊ぶ機会を提供します。



3 事業費
2,866千円

款: 教育費
項: 保健体育費
目: 保健体育総務費

担当: 保健体育課

(ダイヤルイン: 072-784-8087)

(単位: 千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
体力・健康づくり 推進事業	1,000	—	—	—	1,000	—	806	1,806
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成29年度(2017年度)～							
主な業務内容	市内小学校のグラウンドに体育器具を設置し、体育の授業や休み時間に活用する等、運動の日常化を図り、体力の向上を推進する。							
基本目標/政策目標	未来を担う人が育つまち					事務事業 コード (6桁)	222313	
基本方針/施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育							
その他計画の位置付け	伊丹市第2次教育振興基本計画							

1 事業の目的

平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、本市小学生の体力は、ほぼ全国平均並となりましたが、依然、柔軟性や持久力を向上させる必要があります。

そこで、市内小学校のグラウンドに体育器具を設置し、体育の授業や休み時間に活用を促していく等、運動の日常化を図り、児童の体力向上につなげます。

2 事業の概要

伊丹小学校・南小学校の2校に体育器具を設置します。

3 事業費

500千円×2校

【設置遊具例】 設置希望調査を行い、各学校の実情に合わせて体育器具を設置します。



款：教育費
項：保健体育費
目：保健体育総務費

担当： 保健体育課

(ダイヤルイン：072-784-8087)

(単位：千円)

事業名	補正額 (A)	財源内訳					現計予算 (B)	補正後 (A)+(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
伊丹市中学校 部活動指導員配置事業	779	—	440	—	—	339	—	779
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	中学校部活動指導員配置事業費補助金				補助率	2/3	
事業期間	平成30年度(2018年度)							
主な業務内容	中学校部活動において、実技指導・引率等を行う部活動指導員を配置する。							
基本目標/政策目標	未来を担う人が育つまち					事務事業 コード (6桁)	222313	
基本方針/施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育							
その他計画の位置付け	伊丹市第2次教育振興基本計画							

1 事業の目的

平成29年12月に文部科学省から「学校における働き方改革に関する緊急対策」が示されました。伊丹市教育委員会においては、中学校2校をモデル校として部活動指導員を配置することで、部活動の指導体制を充実させ、中学校教諭の「部活動指導」にかかる業務の負担軽減を図り、働き方改革を推進します。

2 事業の概要

これまで中学校教諭が担ってきた、実技指導、学校外での活動の引率、部活動の管理運営、年間・月間指導計画の作成などを、教員と連携しながら実施する部活動指導員を配置します。部活動指導員の勤務については、スポーツ庁が平成30年3月に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、1週あたり平日4日、休日1日とします。

3 事業費 779千円

- ・部活動指導員賃金 @330,480円×2名(校)=660,960円
- ・交通費 @ (420円×140日)×2名(校)=117,600円
(賃金にかかる部分について、県2/3補助)

